

2019.02.20

NPOコンソーシアム説明用資料

～佐世保市役所保健福祉部への提案～
(オーラルフレイル対策について)

NPO食支援ネットワーク・長崎嚙下リハビリテーション研究会

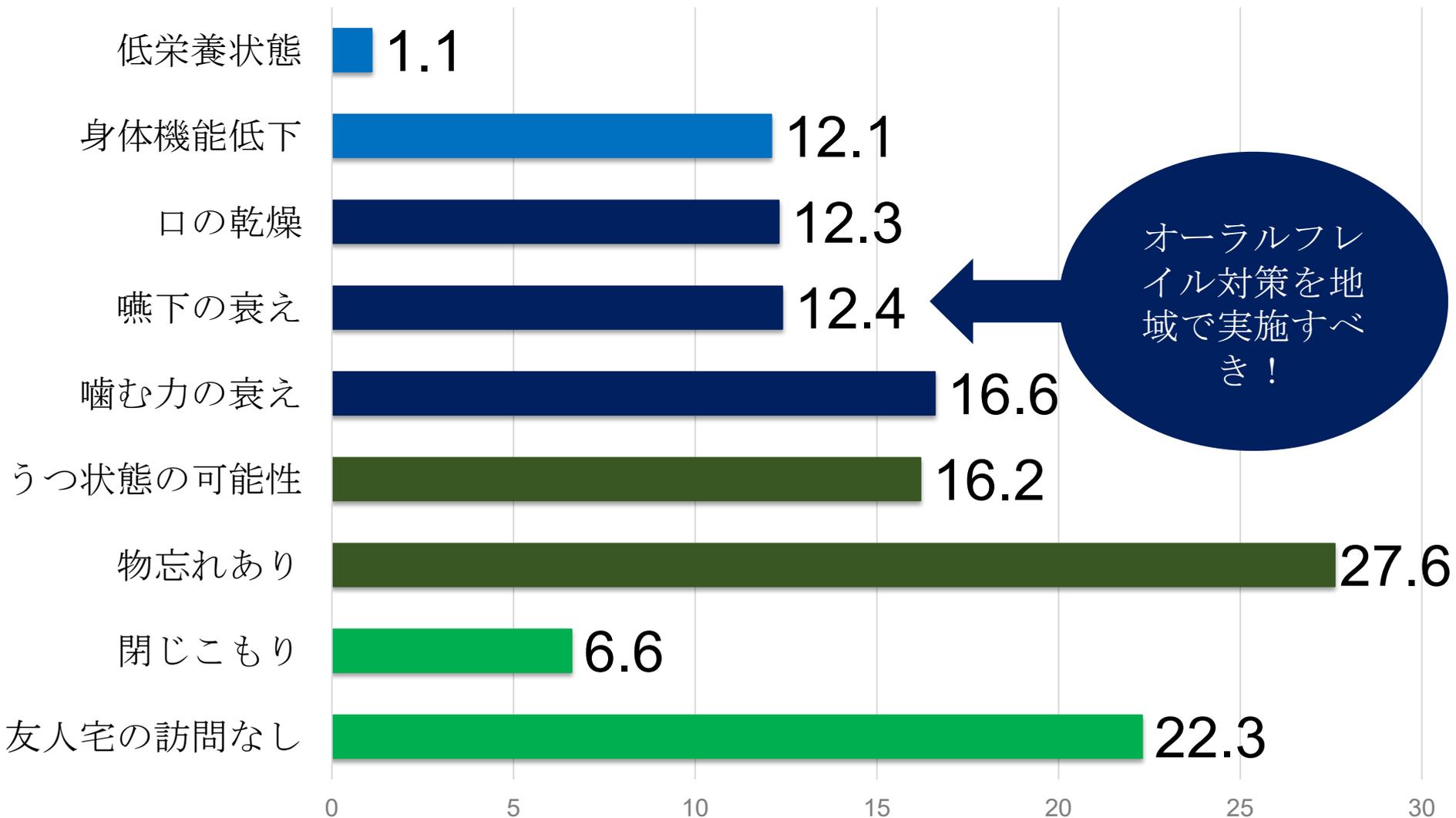
会長 山部一実

世話人 西田隆宏

介護予防にオーラルフレイル対策を導入する必要性

- 日本人の死因の第3位が肺炎であり、高齢者の場合、誤嚥性肺炎がほとんどである
- オーラルフレイル(口腔機能の軽度の衰え)は、誤嚥性肺炎、身体虚弱、要介護状態、死亡の引き金となっている
- オーラルフレイルは、早期発見・早期対応で回復が見込める

吉井包括圏域：地域在住高齢者3475人の 基本チェックリスト分析：各領域の該当割合(%)



オーラルフレイル対策を地域で実施すべき！

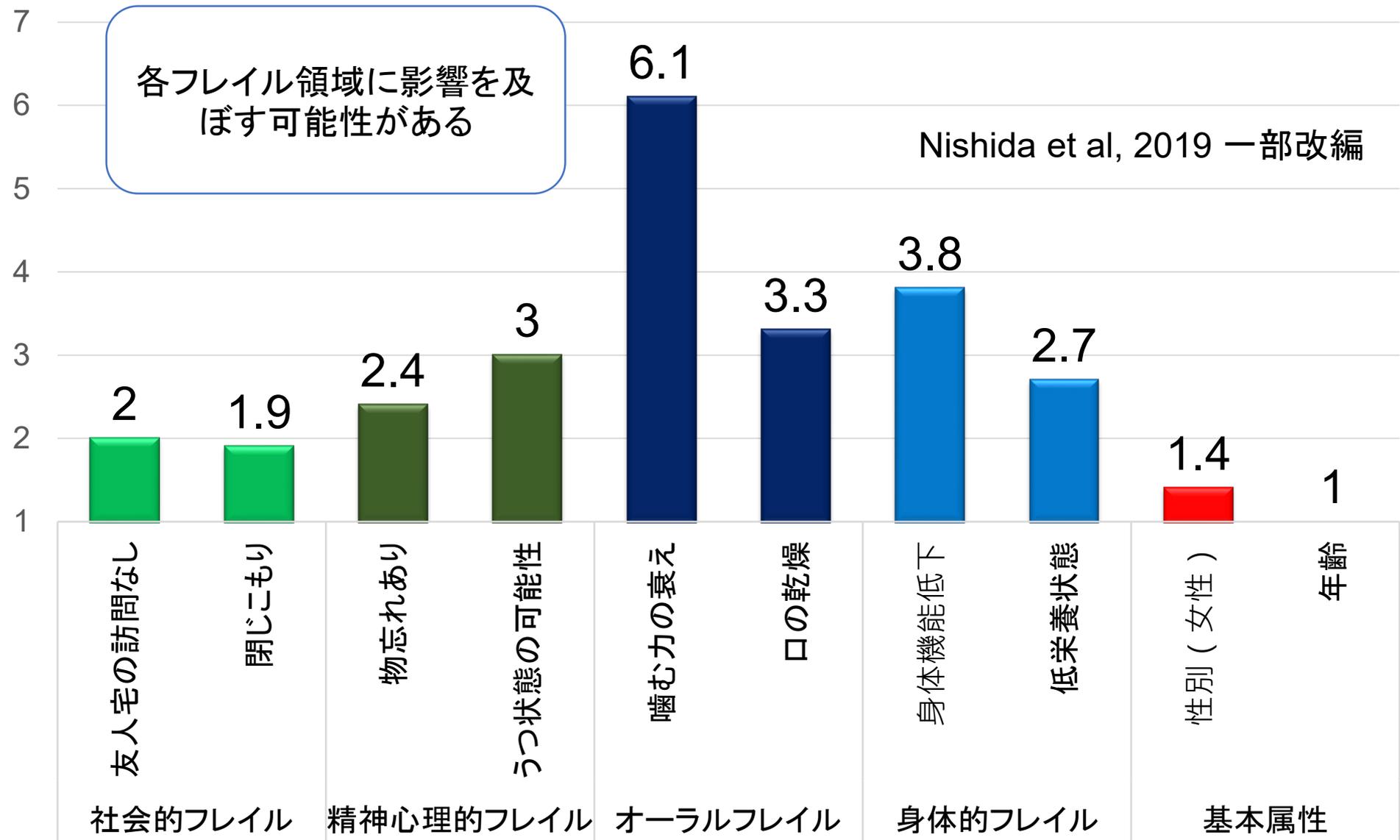
地域での介護予防の現状と課題

- 基本チェックリスト分析の結果、口腔機能領域の該当割合は高いにもかかわらず、十分な口腔機能向上プログラムが実施されていない
- 運動機能向上プログラムに偏った介入
 - 「いきいき百歳体操」のみ実施でマンネリ化
 - 「けんこう運動支援隊」は体操の支援
- 生活支援サポーターや認知症サポーターはいるが、口腔機能の向上に寄与するサポーターは？

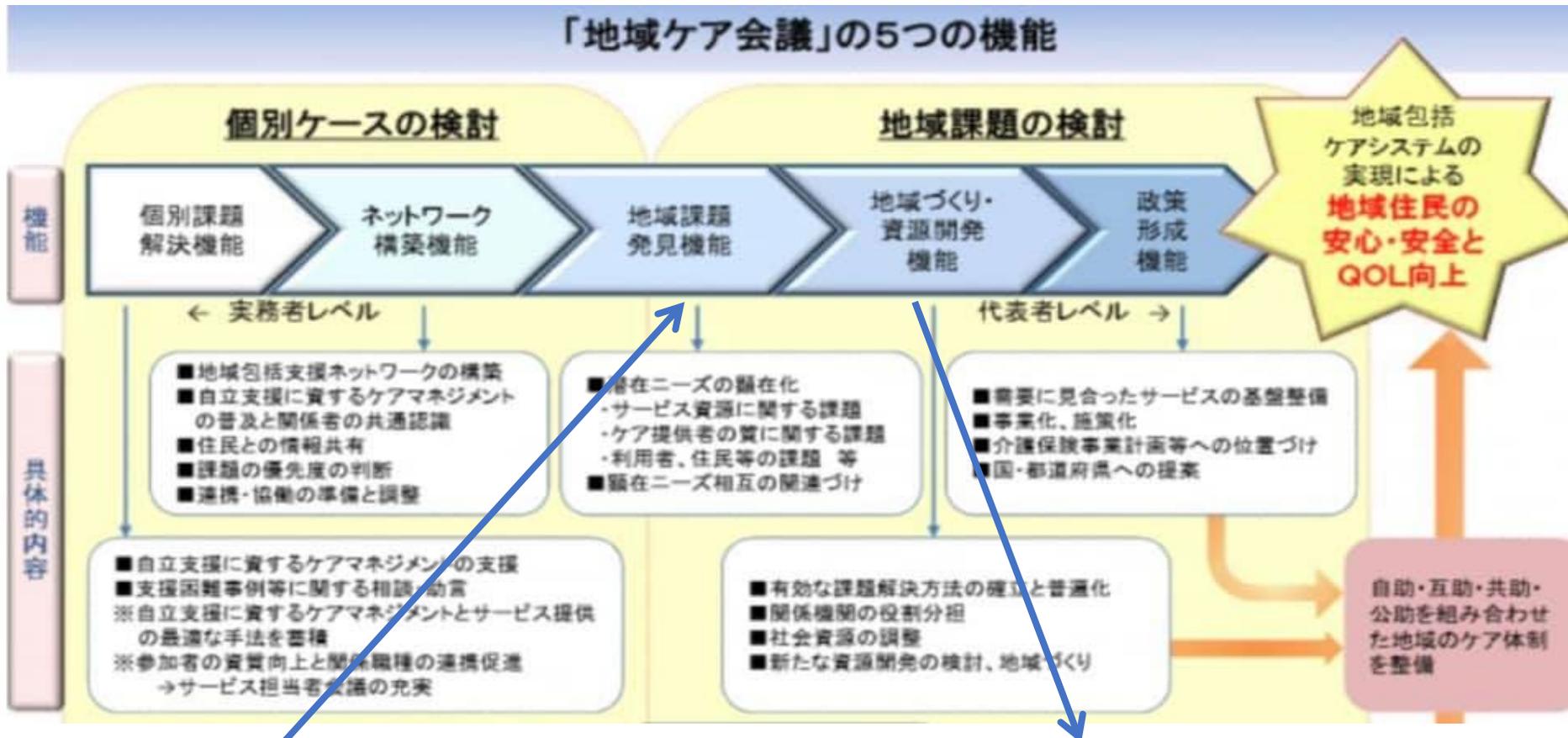
口腔機能（特に嚥下機能）低下のリスクは？

各フレイル領域に影響を及ぼす可能性がある

Nishida et al, 2019 一部改編



地域ケア会議でのコンセンサス



オーラルフレイルの割合が高いという地域課題を発見し、2017年2月に地域ケア会議で議論し、対策を講じた

オーラルフレイルの嚥下障害の早期発見・早期対応すべきだという科学的妥当性が証明されたが、地域へ言語聴覚士等の専門職が介入できていない現状もあり、「地域づくり・資源開発」として本「産官学連携プロジェクト」を立ち上げる

なぜ産官学連携が必要なのか？

- 地域包括ケアシステムの構築に向けて、NPO等の多様な機関との連携が求められている
- リハビリテーション専門職との連携が必要とされているが、当NPOは嚙下リハを専門としており、言語聴覚士との連携も図りやすい
- 高度な技術を要する測定や介入効果の検証、及び費用対効果を分析するためには医療産業界や大学との連携が必須となってくる

行政(官)への提案

- 佐世保市でオーラルフレイル予防対策のモデル事業を実施していただき、当NPOと連携を図っていただくことで、地域在住高齢者の介護予防やQOLの向上に寄与したいと考えております。
- 介護予防効果とは、介護保険の新規発生の抑制効果をもって評価し、高齢者のQOL向上はしかるべき評価を行います。また、誤嚥性肺炎の発症率低下にもつながると思いますので、医療費・介護保険料も含めて費用対効果の検証も致します。

オーラルフレイル対策 コンソーシアム

NPO食支援ネットワーク

・長崎嚥下リハビリテーション研究会

*** 注: 本構想は2019.01に構想**

産官学連携による介護予防の地域づくり

(背景)

地域包括ケアシステムの構築に向けて多様な主体が地域の介護予防に関わることが求められている

(産官学連携について)

(官): 行政による地域の介護予防システムづくりの推進

(産): 医療・健康分野のメーカーによる地域における介護予防機器の開発。また、医療法人等による専門職種地域派遣

(学): 大学によるデータ解析・エビデンスの確立

NPO食支援ネットワーク・長崎嚥下リハビリテーション研究会のプロジェクト

- 介護予防のなかでも、オーラルフレイル対策を充実させて地域在住高齢者の誤嚥性肺炎の予防およびQOLの向上に寄与することを目的とする
- 産官学連携の中心的役割を担い、佐世保市の介護予防活動におけるオーラルフレイル対策を我が国のモデルとなるよう協賛機関と連携し情報を発信する

コンソーシアムの組織と役割(概要図)



コンソーシアムの組織

NPO

- NPO食支援ネットワーク・長崎嚥下リハビリテーション研究会

行政

- 佐世保市S町地域包括支援センター
- 佐世保市役所保健福祉部長寿社会課

企業

- 口腔・嚥下機能検査に関わるメーカー
- 呼吸機能訓練機器(装具)に関わるメーカー

大学

- 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
- (公衆衛生看護学・地域リハビリテーション学)

コンソーシアムの各組織の役割

NPO

- 地域包括ケアシステムのなかでの多機関とのネットワーク構築および地域づくりの総括(連携と助言)
- オーラルフレイル予防に関する政策立案(エビデンスに基づく政策立案の導入)

行政

- モデル地域として介入の具体的な場所の設定(S町地域包括支援センター)
- 地域包括ケアシステムの構築へ向けた地域づくりの政策と広報(佐世保市長寿社会課)

大学

- 地域づくり・政策形成に関するエビデンスの確立
- 地域リハの視点からのエビデンスの確立

企業

- 舌圧計「JMS舌圧測定器®」JMS<https://www.jms.cc/index.html>
- 吹き戻し「長息生活®」ルピナス<https://www.fukimodoshi.jp/>
- 咽喉マイク なんず無線 <http://www.nanzu.jp/syohin/pwgiga-s.htm>
- 滑舌計「健口くん®」<http://www.takei-si.co.jp/productinfo/detail/246.html>
- その他関連企業 プラッツetc.

NPOの具体的な役割(1)

100水飲みテストの導入

- エビデンスに基づく嚥下機能評価について
- 100mL水飲みテスト(100WST)のスクリーニング検査紹介

市民公開講座を通じた普及啓発活動

- 佐世保市における地域在住高齢者のオーラルフレイルの現状
- 誤嚥性肺炎の早期発見・早期リハビリテーション

地域支援事業への言語聴覚士(ST)派遣

- 地域ケア会議へのST出席のための調整
- 介護予防事業(地域の通いの場における嚥下リハビリテーション指導、地域介護予防事業での講師)へのST派遣

肺炎予防サポーターの養成と派遣

- 肺炎予防サポーターの人材バンク登録と養成
- 肺炎予防サポーターおよび摂食・嚥下コーディネーターの地域の通いの場への派遣

NPOの具体的な役割(2)

地域在住高齢者への嚙下リハビリテーション効果検証

- 地域における嚙下リハビリテーションの介入効果として、大学の助言・協力のもと国内外において論文として公表する

地域ケア会議において政策立案に関与する

- 地域支援事業の一環として行う本プロジェクトを事業評価し、地域ケア会議(代表者レベルでの会議である「地域ケア推進会議」)において政策としてプロジェクトを継続できるように提案する

プロジェクトの活動報告

- 地域づくり・社会資源開発の好事例とし、大学の助言・協力のもと国内外において論文として公表する
- 保健文化賞やその他地域づくりのに関する研究・活動補助制度に応募する

産についての協賛候補(予定)

(協賛メーカーの候補)・・・物的資源に関する協賛

- ・ルピナス株式会社・・・吹き戻し等の資材提供
- ・フローラメンバーズ株式会社・・・吹き矢等の資材提供
- ・なんず電機・・・咽頭マイク機器の貸し出し
- ・竹井機器・・・滑舌計の貸し出し

(協賛医療・社会福祉法人の候補)・・・人的資源に関する協賛

- ・医療法人財団白十字会佐世保中央病院
リハビリ(言語聴覚士)職種^の地域への介入援助
- ・長崎大学医学部付属病院・・・歯科医師(三串歯科医師)によるゆめカステラの開発と広報助言

官についての協賛候補

- 佐世保市保健福祉部長寿社会課
地域包括ケアシステムの構築へ向けた地域づくりの政策と広報
- 佐世保市吉井地域包括支援センター
モデル地域として、介入の具体的な場所の設定
保健師による地域への介入と協賛機関との連携

学についての協賛候補 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)

・公衆衛生看護学科 本田純久 教授・・・データの
解析を通じた エビデンスの確立

・理学療法学科 井口茂 教授・・・地域リハの視
点からのエビデンスの確立

具体的な活動

(介入)・・・地域在住高齢者に対して
オーラルフレイルの健康教育
嚥下リハビリテーション(嚥下体操・呼吸訓練)
身体計測や口腔や嚥下の検査

(普及啓発活動)・・・市民全体に対して
市民公開講座(オーラルフレイルと肺炎予防)

(研究・開発)
データの解析・学会発表・論文作成、資材の開発・改良

(情報の発信と役割の拡大)
産業(企業)の継続した介入支援ができるような体制づくりの創出

構成団体の役割(行政 & NPO & 大学)

- 地域包括支援センター: 活動地域の設定と介入
吉井地域包括支援センター
佐世保市
- NPO: 嚥下機能検査のシステムの提供
食支援ネットワーク・長崎嚥下リハビリテーション研究会
- 大学: 調査の集計と分析
本田純久教授(長崎大学大学院保健学専攻)
井口茂教授(長崎大学医学部保健学科理学療法科)
- 国保連合会

肺炎予防サポーター 人材バンク(仮称)

肺炎予防サポーターと人材バンク

【肺炎予防サポーター人材バンク】とは

誤嚥性肺炎の予防やオーラルフレイルについての広報活動および地域介護予防活動に寄与する人材(下記の肺炎予防サポーター)を養成し地域への派遣を調整する。

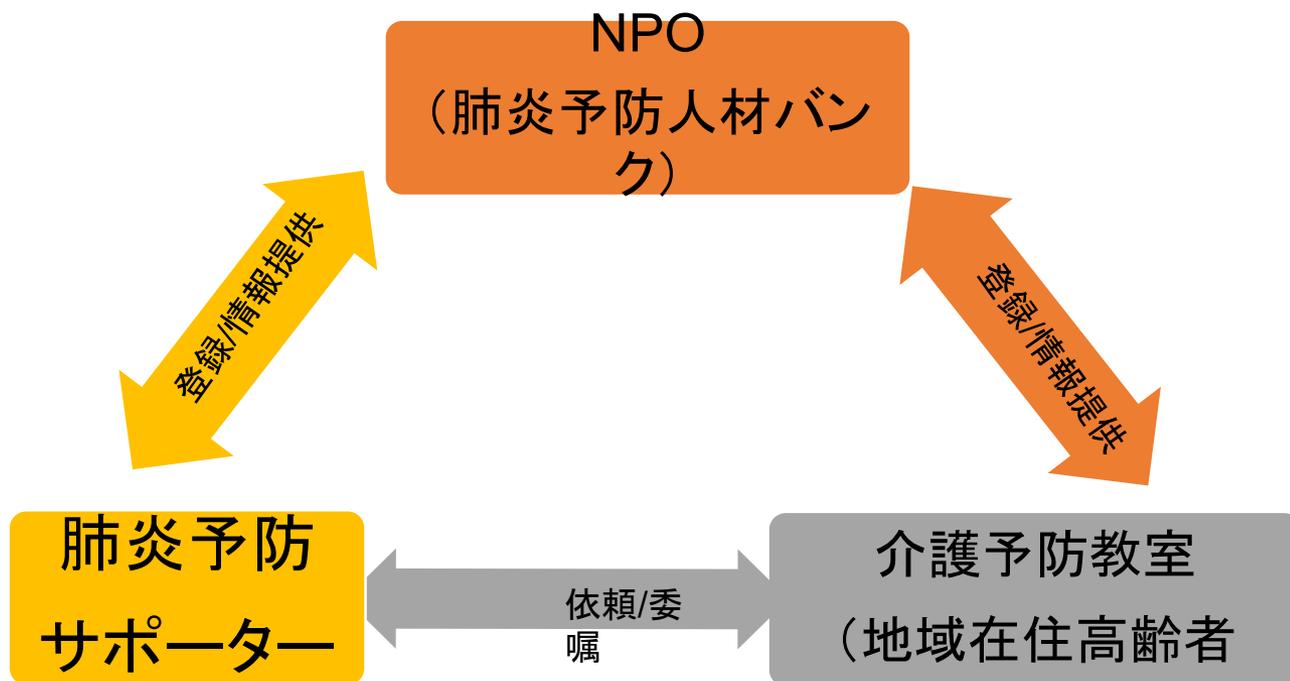
【肺炎予防サポーター】とは

誤嚥性肺炎の予防に関心のある方、口腔機能に関する介護予防に関心のある方で当NPOに申請し、研修を受けた後に、サポーターとして登録された方です。

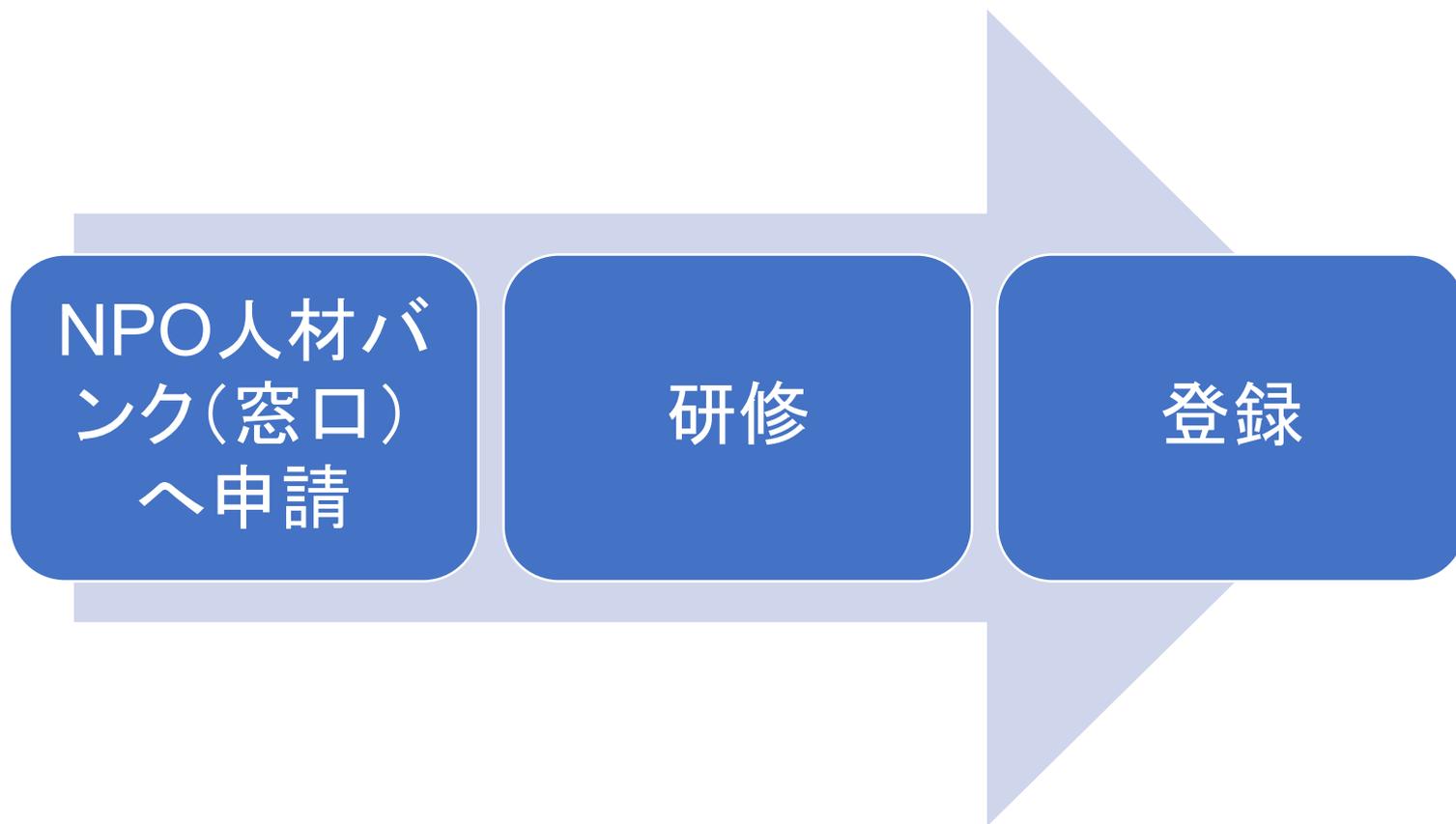
なお、当NPOで既に「摂食・嚥下コーディネーター」の登録をされている方もサポーターとして登録されます。

活動内容は、地域の通いの場で、口腔機能の検査や嚥下リハビリ指導のお手伝いをします。

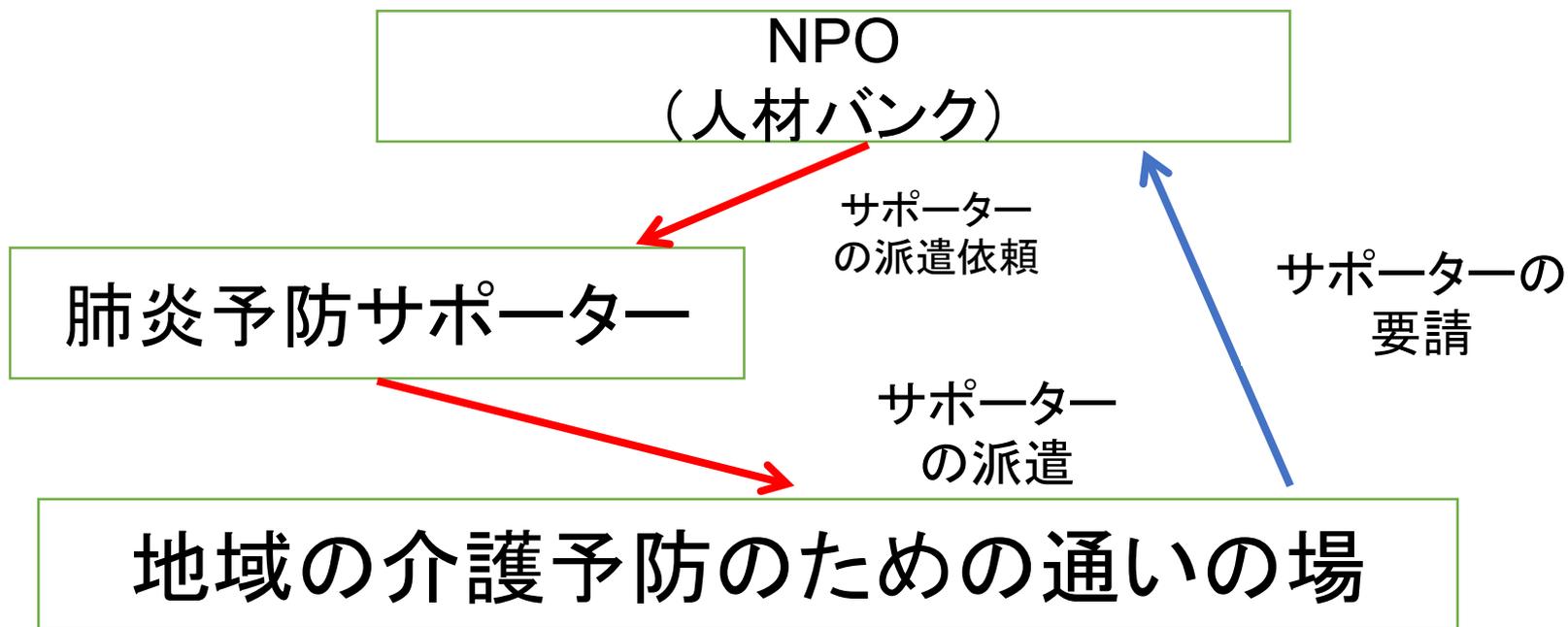
肺炎予防サポーターとNPOの関係



地域住民からNPOへ肺炎予防サポーター登録までの流れ



NPOから通いの場への肺炎予防サポーターの派遣



登録から活動までの流れ

1. 登録

サポートしたい方、またはサポートが欲しい地区の代表者の方は申請・登録が必要となります。「肺炎予防サポーター人材バンク」事務局(NPO内の窓口)にて申請してください。

2. 研修

肺炎予防サポーターに登録された方は研修を受けていただき、介護予防教室での専門家のお手伝い、教室の指導者として活動していただきます。

特記事項

1. 本人材バンクへの登録は、基本的には地域在住高齢者の方の中からの希望を優先するものである。
2. NPO食支援ネットワーク・長崎嚥下リハビリテーション研究会の認定した「摂食・嚥下コーディネーター」も対象とする。